



寺田 守

議員



### 台風15号の豪雨予報

**問** 今回の台風15号では、線状降水帯が発生し、市内でも大きな豪雨被害が発生した。市民への周知はどのように行ったか。

**答** 線状降水帯が発生するとの予報はなかったが、市民にはメローねつを通じて注意喚起の報告を行い、翌日には大雨が降ったため、避難指示を市内全域に発令した。

### 水害の緊急対策

**問** 浸水の常襲地帯では耐水壁の設置や堤防のかさ上げが出来ないか。

**答** 堤防のかさ上げなどは、河川の溢水を防ぐ一方で、住宅敷地内の水が排水され難くなり、被害を拡大させる可能性もある。地盤や周辺宅地の高さを確認し対策を研究していきたい。



市道太郎兵衛新道国本線の冠水の様子

### 市民の避難誘導方法

**問** 避難指示が発令された時間には、既に道路の冠水なども発生していたが、避難指示または避難場所についてはどのように考えているか。

**答** 避難にあたっては、安全な知人宅などへの立ち退き避難や、高い場所への垂直避難なども有効である。「自分の命は自分で守る」を基本に引き続き周知に努めていきたい。



佐野 武次

議員



### 浅羽中学校への校庭貯留施設の設置効果は

**問** 予定地は市街地の最南端にあり、周囲には水田があることなどから、効果はあまり期待できないと思うがどうか。

**答** 流域全体での治水対策により、河川の水位を低下させることができるため、既存インフラを有効活用した貯留施設は、浸水被害の軽減に貢献する重要な取組と考えている。

### 森林環境譲与税の活用状況と今後の方針は

**問** この譲与税を活用し、どのような事業を進めているのか。また、今後の方針は。

**答** 主に森林整備と松林の再生の二つの事業を実施している。今後は、避難所などの周辺森林をはじめ、人工林の整備なども、順次実施したい。



校庭貯留イメージ

### 掛川市内の医療用資材流出への対応は

**問** 台風15号の影響から、大量の医療用資材が、太田川に流出するという事案が発生した。本市の対応は。

**答** 現時点で市民からの流出物についての通報などはない。市の巡回などでも、資材の漂着は確認されていないが、今後も、関係市町や県からの情報を受けながら対応していく。

### 三沢川の河川維持管理

**問** 笠原こども園北東の三沢川に、土砂が堆積し河床が高くなった。大雨により氾濫が心配されるため、早期に対策すべきと考えるが。

**答** 地元から河川の浚渫工事の要望を受け、県土木事務所に副申書を提出した。今後市においても現状を把握し、異常を発見した場合に県に早期の対応を要望していく。

### 防潮堤の完成に関連して

**問** 防潮堤の完成に合わせて安全メッセージを発信し、津波ハザードマップを見直すべきとの意見があるが、どのような方針で臨むか。

**答** 県が行う防潮堤の津波に対する安定性の検証結果と、県の津波浸水想定の見直し状況を踏まえ検討する。



増水時の三沢川

### 児童生徒の不登校支援

**問** スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、専門家を含めたチームによる支援が有効だと思いが活用しているか。

**答** 教員とともに個別に児童生徒や保護者の相談を受けている。また管理職や生徒指導担当を交えたケース会議に参加し、適切な支援ができるよう指導・助言を行っている。



立石 泰広

議員

